

1 主題名 友情 2-(3)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目2-(3)は、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励ましあい、高め合う。」ことをねらいとしている。

中学生の時期の友達関係は、仲のよい友達、一緒に遊ぶ友達だけでなく、さらに互いに心を許しあえる友達を真剣に求めるようになる。しかし、頭では分かっていながら、自己中心的な言動をとつて友達とトラブルになることが多い。そこで、相手の立場や考えを尊重することや困難な状況でも互いを理解し、相手を心から信頼できるような友達関係を築いていくために、どんなことが大切かを深く考えさせたい。

(2) 生徒の実態について (H26年5月12日実施、調査人数**人)

1 友達が困っている時、助けてあげた経験がありますか。	はい *人	いいえ *人
2 友達とトラブルになったことがありますか。	はい *人	いいえ *人
3 そのトラブルは解決しましたか。	はい *人	いいえ *人
4 あなたには「本当の友達」がいますか。	はい *人	いいえ *人

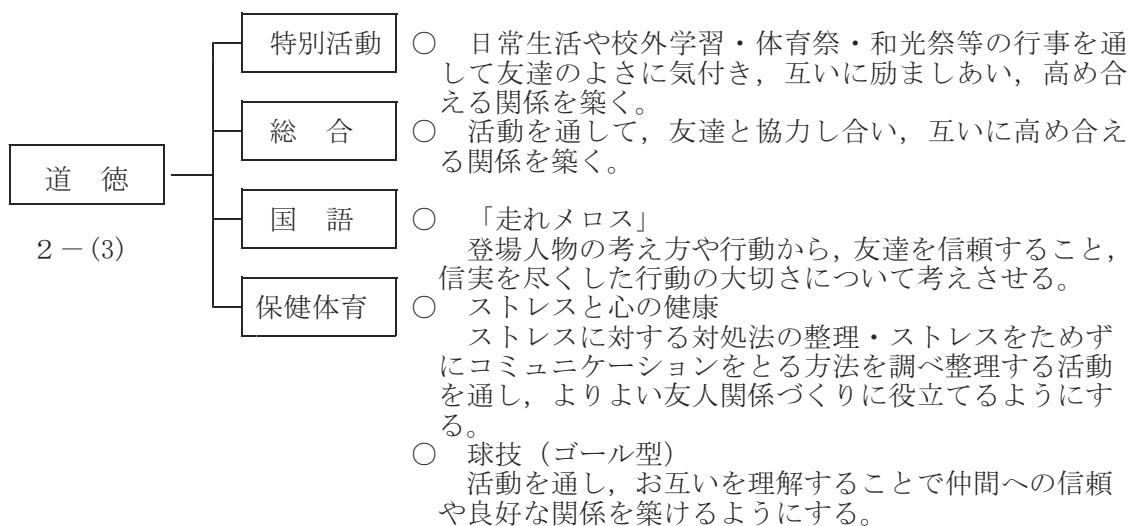
本学級の生徒は、友達を大切にしようとする思いがある一方で、多くの生徒が友達とのトラブルを経験している。トラブルの内容は、相手の気持ちを考えずに行動した結果起きたものがほとんどである。しかし後にトラブルを解決してよりよい友達関係を作る努力をしていることが分かった。また「本当の友達」とはどんな人かという問には「楽しい」「いつも一緒にいる」以外にも「支えあえる」「自分をよくしてくれる」「心から信頼できる」と答えていた生徒もいる。そこで、「本当の友情」とはどんなものなのかをグループで話し合い、自分の考えをまとめたり、他者の考えを聞いたりして、「友情」に対する考え方を深め、日々の生活の中で生かしていく態度を育成したい。

(3) 資料について 資料名「無断欠席」(出典 茨城県道徳教育用自作資料集)

幸一と守は、卓球部に入っている。ある日、幸一は仮病を使い部活動を休む。その欠席の連絡を友達の守に頼むが、先生に伝わっておらず、幸一は厳しく叱られた。数日後、今度は守から欠席の連絡を伝えてくれと頼まれ、幸一は先生に伝えるかどうかと迷う。

生徒にとっては身近な内容の資料であり、自分の部活動においても同じようなことがありえると思われる。そこで、幸一の気持ちに焦点をあて、「心から信頼され、互いに励ましあい、高めあえる」友達関係をつくるためにどうしたらよいかを考えさせたい。資料を通して、「友情」に対する価値のとらえかたを深化させる授業としたい。

3 各教科等における道徳教育との関連



4 本時の指導

(1) 目標

○ 相手の立場や気持ちを理解して行動しようとすることや、信頼しあい、励ましあい、高めあえるよりよい友達関係を築こうとする道徳的判断力を養う。

(2) 準備・資料

資料「無断欠席」・「私たちの道徳」・ワークシート・登場人物のイラスト
アンケート結果・バインダー

(3) 展開

主な活動と発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 エンカウンター活動を行なう。 「信頼の後ろ倒れ」活動 ①2人1組をつくる ②一方が後ろに倒れる ③他方が後ろから支える ④シェアリングを行う</p> <p>2 「無断欠席」を読み、話し合う。 ○ 「ちえつ、守のやつ。」と舌ちをしたときの幸一は、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>○ 先生に伝言を伝えようかどうか迷っている幸一はどうなことを考えたのでしょうか。</p> <p>○ あなたは幸一がどうすればよいと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転んだら怖い。 ・相手を信じていいのかな。 ・転ばないように、しっかりと受け止めよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・守のせいで怒られた。 友達なのにひどい。 ・どうして先生に伝えてくれなかつたのだろう。 ・もしかしてずる休みだって気づいたかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・この前の仕返しをしたい。 あいつだつてずる休みかもしない。 ・先生に怒られればいいんだ。 <p>〈伝えない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守が自分で伝えればいいと思うから。 <p>〈伝える〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生に守がずる休みと思われてしまうから伝える。 ・言わなかつたら友情が壊れてしまうかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく倒れるためには、信頼関係が大切なことに気付かせる。 ・事前にペアを決めておき活動がスムーズに行えるようにする。 ・授業の進行上、椅子のみを使う。 <ul style="list-style-type: none"> ・舌打ちをしたときの主人公の心情を理解し、普段の自分達の生活にも起こりうることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ネームプレートを自分の考えに近いほうに提示し、選んだ考えの根拠をワークシートにまとめてすることで自分自身の考えを深められるようにする。 ・考えを発表し合い、他者の意見を聞くことで、違った視点で考えたり、自分と異なる意見を尊重できるようにする。
真の友情を育てるために、大切なことは何でしょう。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えること ・相手を尊重すること ・間違ったことを注意し合うこと ・相手を信頼すること ・相手を傷付けないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけてじっくり考え方させる。 ・考えたことをワークシートに記入させる。
3 自分の生活を振り返り、「友達とトラブルになった原因とその背景にあるもの」について考え、これからどうしていったらよいかをグループで話し合い、意見を交換する。		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情をそのままぶつけるのではなく、話しかけ方の工夫など、「どうしたら上手く解決できるか」なども考え方とする。 ・心から信頼できる友を得るためにどうあるべきか自分自身のことを振り返って考えられるようにする。 ・「私たちの道徳」を活用し道徳的価値に対する自分の思いや考え方を確かめさせる。
4 「私たちの道徳」P60を読む。		

(4) 努力事項（学校教育指導方針）との関連

各教科、総合的な活動及び特別活動における道徳教育を「補充・深化・統合」し、多様なものの考え方や個性や立場を尊重する態度を育てる機会としたい。